



2024年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社 THEグローバル社
コード番号 3271 URL <https://www.the-g.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3345-6111

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第1四半期の連結業績(2023年7月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	8,940	3.3	693	150.8	556	319.1	368	388.9
2023年6月期第1四半期	9,244	24.1	276	3.8	132	71.7	75	10.2

(注) 包括利益 2024年6月期第1四半期 370百万円 (374.0%) 2023年6月期第1四半期 78百万円 (11.8%)

1株当たり四半期純利益	
	円 銭
2024年6月期第1四半期	13.01
2023年6月期第1四半期	2.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期第1四半期	39,788	5,663	14.2	200.06
2023年6月期	33,243	5,292	15.9	186.96

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 5,663百万円 2023年6月期 5,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期		0.00		0.00	0.00
2024年6月期					
2024年6月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,769	3.8	3,386	53.5	2,501	59.7	2,002	14.6	70.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 合同会社京橋釣鐘を営業者 除外 社 (社名)
とする匿名組合

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年6月期1Q	28,306,000 株	2023年6月期	28,306,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年6月期1Q	76 株	2023年6月期	76 株
------------	------	----------	------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年6月期1Q	28,305,924 株	2023年6月期1Q	28,305,924 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束するものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年7月1日～2023年9月30日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類への引下げや所得環境の改善等を背景とした、インバウンド需要や個人消費の持ち直しに伴う経済活動の正常化により、穏やかな回復傾向にあります。一方で世界的な金融引締めに伴う影響等、海外景気の減速が国内景気に影響することも懸念され、引き続き注視していく必要があります。

当社グループが所属する不動産業界におきましては、首都圏の新築分譲マンション市場は、2023年下期（7月～9月）に入り供給戸数が6,180戸と前年同期（5,466戸）から微増に推移しております。契約率は多少の増減はあるもののほぼ横ばいとなり、平均価格、㎡単価については2023年9月現在、7か月連続で前年同期を上回り、堅調に推移しております（不動産経済研究所資料参照）。投資用不動産につきましては、不安定な世界的な金利政策等が懸念されるものの、経済の回復傾向に加え、継続する円安を背景に海外投資家による国内投資需要は安定的に推移しております。

このような状況下当社グループでは、所有物件の開発・販売に努め、都内収益物件4物件の売却引渡を行いました。また仕入れ活動においては、首都圏を中心とした分譲及び収益マンション用地の仕入れ強化を図っております。

ホテル業界におきましては、国内需要も活発に推移しており、訪日外国人観光客数においても9月には2019年の同月比約95%の水準まで回復し、宿泊施設の稼働も順調に回復傾向に推移しております（観光庁調べ）。当社グループにおきましても、営業再開しております施設の稼働も回復傾向で推移しております。また、販売用不動産に計上しておりました京都ホテル案件2物件を売却いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高8,940百万円（前年同四半期比3.3%減）、営業利益693百万円（前年同四半期比150.8%増）、経常利益556百万円（前年同四半期比319.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益368百万円（前年同四半期比388.9%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、以下のとおりであります。

[分譲マンション事業]

分譲マンション事業におきましては、当第1四半期連結累計期間における引渡実績はありませんでした。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高一百万円（前年同四半期は売上高一百万円）、営業損失244百万円（前年同四半期は営業損失74百万円）となりました。

[収益物件事業]

収益物件事業におきましては、「大森プロジェクト」、「八丁堀Ⅲプロジェクト」等、4物件の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高6,962百万円（前年同四半期比49.6%増）、営業利益781百万円（前年同四半期比23.9%減）となりました。

[販売代理事業]

販売代理事業におきましては、グループ会社開発及び他社開発物件の販売代理を行い、地域別の引渡実績は、東京都区部14物件23戸、東京都下2物件3戸、神奈川県2物件2戸、埼玉県2物件2戸、合計20物件30戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高33百万円（前年同四半期比20.4%減）、営業損失80百万円（前年同四半期は営業損失61百万円）となりました。

[建物管理事業]

建物管理事業におきましては、2023年9月30日現在のマンション管理戸数が3,827戸となります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高120百万円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益14百万円（前年同四半期比17.9%増）となりました。

[ホテル事業]

ホテル事業におきましては、京都におけるホテル運営及び京都プロジェクト2物件の引渡しなどを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高1,822百万円（前年同四半期比58.7%減）、営業利益409百万円（前年同四半期は営業損失384百万円）となりました。

[その他]

その他としましては、不動産賃貸事業等による収入であります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高1百万円（前年同四半期比89.6%減）、営業利益0百万円（前年同四半期は営業損失0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ6,545百万円増加し39,788百万円となりました。負債については前連結会計年度末から6,174百万円増加し34,125百万円となりました。

また、純資産については前連結会計年度末から370百万円増加し5,663百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な変動要因については、物件の仕入により仕掛販売用不動産が5,499百万円増加、物件の完成による仕掛販売用不動産からの振替により販売用不動産が2,569百万円増加したことによるものであります。

負債の主な変動要因については、有利子負債が4,704百万円増加したことによるものであります。

また、純資産の主な変動要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益368百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年8月10日に公表しました通期予想と変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,743,919	3,138,771
売掛金	62,394	39,624
販売用不動産	2,461,460	5,030,895
仕掛販売用不動産	23,636,398	29,136,001
前払費用	862,891	960,227
その他	467,693	587,491
流動資産合計	32,234,758	38,893,012
固定資産		
有形固定資産	59,382	69,126
無形固定資産	8,583	7,861
投資その他の資産		
投資有価証券	304,557	305,252
長期貸付金	326,048	353,171
繰延税金資産	194,185	62,355
その他	485,002	493,681
貸倒引当金	△368,937	△395,580
投資その他の資産合計	940,856	818,880
固定資産合計	1,008,822	895,868
資産合計	33,243,581	39,788,881
負債の部		
流動負債		
買掛金	712,848	2,785,577
短期借入金	10,946,000	11,393,713
1年内返済予定の長期借入金	8,574,159	12,088,138
1年内償還予定の社債	100,000	70,000
未払金	566,271	479,957
未払法人税等	36,051	66,548
未払消費税等	757,239	70,814
前受金	1,033,450	1,293,215
賞与引当金	9,711	38,635
その他	240,914	121,652
流動負債合計	22,976,645	28,408,250
固定負債		
社債	1,740,000	1,740,000
長期借入金	3,164,319	3,943,318
繰延税金負債	5,966	—
その他	64,459	34,306
固定負債合計	4,974,744	5,717,624
負債合計	27,951,389	34,125,875

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,924,376	1,924,376
資本剰余金	2,870,605	2,870,605
利益剰余金	647,098	1,015,393
自己株式	△33	△33
株主資本合計	5,442,046	5,810,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	657	1,352
為替換算調整勘定	△150,511	△148,688
その他の包括利益累計額合計	△149,854	△147,336
純資産合計	5,292,191	5,663,005
負債純資産合計	33,243,581	39,788,881

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	9,244,252	8,940,602
売上原価	8,062,731	7,341,273
売上総利益	1,181,520	1,599,328
販売費及び一般管理費	905,213	906,263
営業利益	276,306	693,065
営業外収益		
受取利息	2,156	50
受取手数料	2,802	6,110
解約精算金	1,269	—
受取地代家賃	3,929	16,190
貸倒引当金戻入額	54,414	450
雇用調整助成金	1,002	—
その他	2,381	2,509
営業外収益合計	67,956	25,311
営業外費用		
支払利息	185,385	120,969
支払手数料	22,275	38,749
為替差損	3,723	286
その他	138	2,000
営業外費用合計	211,521	162,006
経常利益	132,741	556,370
特別損失		
固定資産除売却損	576	0
特別損失合計	576	0
税金等調整前四半期純利益	132,164	556,370
法人税、住民税及び事業税	27,604	62,210
法人税等調整額	29,231	125,863
法人税等合計	56,836	188,074
四半期純利益	75,328	368,295
親会社株主に帰属する四半期純利益	75,328	368,295

（四半期連結包括利益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2022年7月1日 至 2022年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2023年7月1日 至 2023年9月30日）
四半期純利益	75,328	368,295
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69	695
為替換算調整勘定	2,969	1,823
その他の包括利益合計	2,899	2,518
四半期包括利益	78,228	370,813
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,228	370,813

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2022年7月1日至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント					
	分譲マンション 事業	収益物件事業	販売代理事業	建物管理事業	ホテル事業	計
売上高						
一時点で移転される財 及びサービス	—	4,618,297	42,169	—	4,412,008	9,072,475
一定の期間にわたり移 転される財及びサービ ス	—	3,759	—	116,250	—	120,010
顧客との契約から生じ る収益	—	4,622,056	42,169	116,250	4,412,008	9,192,485
その他の収益	—	33,416	—	—	—	33,416
外部顧客への売上高	—	4,655,473	42,169	116,250	4,412,008	9,225,902
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	—	4,655,473	42,169	116,250	4,412,008	9,225,902
セグメント利益又は 損失（△）	△74,631	1,026,247	△61,349	12,509	△384,818	517,957

（単位：千円）

	その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益 計算書計上額 （注）3
売上高				
一時点で移転される財 及びサービス	1,119	9,073,595	—	9,073,595
一定の期間にわたり移 転される財及びサービ ス	—	120,010	—	120,010
顧客との契約から生じ る収益	1,119	9,193,605	—	9,193,605
その他の収益	17,230	50,647	—	50,647
外部顧客への売上高	18,350	9,244,252	—	9,244,252
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	18,350	9,244,252	—	9,244,252
セグメント利益又は 損失（△）	△444	517,513	△241,206	276,306

- （注） 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△241,206千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2023年7月1日至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント					
	分譲マンション 事業	収益物件事業	販売代理事業	建物管理事業	ホテル事業	計
売上高						
一時点で移転される財 及びサービス	—	2,015,792	33,587	—	1,818,417	3,867,796
一定の期間にわたり移 転される財及びサービ ス	—	4,385	—	120,544	—	124,930
顧客との契約から生じ る収益	—	2,020,178	33,587	120,544	1,818,417	3,992,727
その他の収益（注）4	—	4,942,283	—	—	3,679	4,945,962
外部顧客への売上高	—	6,962,461	33,587	120,544	1,822,096	8,938,689
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	—	6,962,461	33,587	120,544	1,822,096	8,938,689
セグメント利益又は 損失（△）	△244,971	781,120	△80,064	14,748	409,512	880,345

（単位：千円）

	その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益 計算書計上額 （注）3
売上高				
一時点で移転される財 及びサービス	1,912	3,869,709	—	3,869,709
一定の期間にわたり移 転される財及びサービ ス	—	124,930	—	124,930
顧客との契約から生じ る収益	1,912	3,994,639	—	3,994,639
その他の収益（注）4	—	4,945,962	—	4,945,962
外部顧客への売上高	1,912	8,940,602	—	8,940,602
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,912	8,940,602	—	8,940,602
セグメント利益又は 損失（△）	609	880,955	△187,889	693,065

- （注）1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△187,889千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 「その他の収益」には、「リース取引に関する会計基準（企業会計基準第13号 2007年3月30日）」に基づく賃貸収入及び「特別目的会社を利用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針（会計制度委員会報告第15号 2014年11月4日）」に基づく不動産（不動産信託受益権を含む）の売却収入等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

（子会社の取得による資産の著しい増加）

当第1四半期連結会計期間において、合同会社京橋釣鐘を営業者とする匿名組合に対し匿名組合出資を行い連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「分譲マンション事業」のセグメント資産が5,040,137千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。